

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [観音寺市立観音寺小学校] 担当教諭名 [木谷 厚子] (6年2組 27名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Emmanuel Cheneau] 担当教諭名 [Sarah Ebel]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル国際交流	12
	外国語活動	できることを紹介しよう	4
	図画工作	自己紹介カードを作ろう 絵をぬろう	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	民話から見える文化の違いと融合
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	おたがいの国に伝わる民話を見直すことで、それぞれの自然や文化(食・祭りなど)のすばらしさを再認識し、おたがいの文化を理解し、大切にしながら、未来に向けてより仲良くしていこう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの国の民話には、昔からの人々の考え方や文化が反映されていること、そこには違いもあるが自然や人を愛するという共通の考え方があることが分かった。 スカイプを使っでの直接交流により、相手との文化等の異同が驚きをもって理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 時差や機器的な面でスカイプ交流がスムーズにいかないこともあった。技術面でも工夫が必要である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ほとんど知らなかったフランスが、自己紹介カードの交換やスカイプ交流などを通して、身近な存在となった。国際的なニュースなどにも関心をもち、翌日に話をしにくる児童が増えた。 3クラスがペルー、台湾、フランスと違った国と交流し、掲示等でその様子を伝え合ったので、異国に対する興味や関心が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムやスカイプを使っでの交流など、児童と一緒に楽しんで取り組めた。相手の先生とのスカイプでの打ち合わせがたくさんでき、楽しかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	自己紹介カードの交換やスカイプでの学校紹介を行った。	初めは英語での自己紹介に戸惑い気味であったが、好きな食べ物や学校によさを伝えたいという気持ちで楽しんで紹介ができた。	総合2 外国語4
共有 テーマ学習	9月 10月	お互いの文化や昔から伝わる民話について、調べ学習を進めた。	日本とフランスの民話を読み比べることによって、お互いの文化の違いやよさに気付いていった。そして豊かな自然と人々の思いによって培われてきた日本文化のよさを再認識した。	総合6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	それぞれの文化のよさを民話にのせて紹介しようということになった。構図はフランス側が提案し、具体的な内容は日本側が提案した。	民話や調べを通して感じた日本や地域の文化のよさを「もたろう」のお話をアレンジして伝えようと話し合って決めた。	総合2 図工1
創造 壁画制作	12月	ストーリーや登場人物等、細かい内容について話し合い、決定した。	下描きから彩色まで、全員が積極的に取り組み、楽しみながら丁寧に仕上げることができた。	図工5
評価 振り返り 自己評価	3月	卒業式会場に展示し、その後も校内の目立つ所に掲示し、全校生が鑑賞できるようにした。	3クラスがそれぞれ違った3つの国と交流し、その壁画を一斉に掲示したので、国による違いを感じているようであった。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	何をどう表現したら相手に伝わるのかを考え、調べ直すことで理解が深まった。
異文化を理解する力	4	スカイプ交流で直接伝え合うことで、相手との異同に関心をもち、理解を深めようとした。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	日本の民話だけでなくフランスの民話についても興味をもち読み比べることで、文化の違いを感じ、背景を調べようとした。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	スカイプ交流で自分たちの学校や地域を紹介する上で、英語を話す必要感をもって発表の準備ができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	相互の民話のストーリーや登場人物の違いから、文化の異同から「なぜ違うのか」「なぜよく似ているのか」と疑問に感じ、考えることができた。
主体的に考え行動する力	4	スカイプでの発表等で、どうすればよく伝わるのか考え、実物を用意したりクイズ形式にしたりと工夫ができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	彩色の際には、自分のパーツにこだわりをもちつつ、全体の色合いに気を配りながら作業ができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	構図や彩色では、どうすれば相手国に日本文化や民話の良さがよく伝わるのか工夫しながら取り組むことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	相手国のストーリーを読み取る中で、互いの自然や文化の異同に気付き、これから一緒にどのような未来を築いていけるか考えた。